

追手門学院後援会の集い

平成27年7月4日、追手門学院後援会の集いにおいて、第5回高島鞆之助賞の表彰と親子三代にわたる入学者5組のファミリーに感謝状が贈られました。

第5回 高島鞆之助賞

豊竹 咲大夫 こと 生田 陽三 (小68・中・高11期)



この度、思いがけず高島鞆之助賞という立派な賞を頂戴致しました。誠にありがとうございます。

私が文楽の世界に入りましたのは、父八世竹本綱大夫(人間国宝)がこの世界におりましたためということになりますが、正しく9歳、追手門学院小学校の3年生のこと、先生方はもとより父兄会、友人たちと、文字どおり学校ぐるみで応援していただいたの出発でした。



以来60年を越え、未だにこの世界に携わっております。技芸の道は深く厳しく、髪は白くなりましたが、まだまだ精進の道は半ばです。

一つのことをとことん追求する、これもまた一つの生き様ではないかと考えます。



親子三世代追手門ファミリー

有澤 孝子 (小78・大手前中・高21・大学8期)

追手門学院親子三代感謝状贈呈式において、役員の皆様方の前で私共家族を表彰して頂き、大変有り難く光栄に思っております。

私は小学校から大学までの十六年の間、追手門精神である敬愛・剛毅・上智を学ばせて頂き、そして今でも目に浮かびます児童の目標としての「高い学力」「強い体」「ねばり強い心」「親切」に基づいて生活を、又、子育てをして来た様に思います。三人の子供達 長女(追小105期) 次女(追小108期) 三女(追幼)も私の時代には無かった幼稚園から学ばせて頂き、規律正しさ等、長年培われて来た良き伝統や時代に沿った教育を受けさせて頂いたと感謝いたしております。

現在「課題先進国日本」において少子高齢化社会は緊急に対策を要する課題です。本学院では社会の要請に積極的に応えられ、本年度より「幼保連携型認定こども園」を創設され、伝統を承継されながら時代の変化に対して新しく挑戦なさっております。この事は追手門学院の卒業生として誇りであり、大いに期待するところです。

今春より孫も幼稚園に入園させて頂き、感慨深いところもあり、又、来年は大学も創立五十周年を迎えられます。将来の日本を担うリーダーを、世界へ羽ばたく人材を養って頂きます様、今後、益々の追手門学院のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



親子三代ファミリー (親世代五十音順)

- ◆有澤 孝子氏 (小78・大手前中高21・大学8期) 川口 由華氏 (小108期) 川口 凜人氏 (幼47期)
- ◆加來 隆幸氏 (大学9期) 加來 麻帆氏 (茨木中28高49・大学36期) 加來 蓮太郎氏 (幼47期)
- ◆額田 晃作氏 (小58期) 額田 和門氏 (小90・大手前中高33期) 額田 嵩也氏 (小132期)
- ◆吉田 史朗氏 (小82・大手前中高25期) 元地 知里氏 (小103・大手前中高46期) 元地 菜桜氏 (小132期)
- ◆山本 愛尚氏 (小52期) 山本 真氏 (小87期) 山本 悟氏 (小126期)

追手門学院後援会とは、大学教育後援会、各校園の PTA、卒業生保護者、小中高卒業生父母の会、大学校友会、校友会山桜会の役員の皆様が一堂に会し、情報交換を行う場となっているほか、近年ではテーマを定め、テーマに応じた講演会を行っています。